フットサポートセンターと連携したフットウェア作製への取り組み

(医)つばさ つばさクリニック 城和美穂子 椿井裕恵 渡邉晃矢 大山恵子 諸見里仁 大山博司 足病変のリスク確認 下肢トラブルの早期発見 感染予防 セルフケアへの意識向上 医療従事者への教育

フットケア



歩行により 足の状態の悪化

増大する糖尿病患者 足に障害を持つ患者

フットウェア

摩擦からの回避 体重負荷からの除圧や免荷 転倒防止・足の疲れの緩和 胼胝の予防 傷からの保護・痛みの緩和



ジフットケアへの取り組み



2004年 全透析患者ヘフットケア開始

2005年 頚動脈エコー開始

2008年 下肢動脈エコー開始

シャボンラッピング実施

爪・角質ケア実施

2012年 グラインダー導入

リスク分類を再編(ノーマル、

ハイリスク、ハイケア)した

フットチェック実施

フットウェア作製への取り組み

- ※ 2011年9月 フットサポートセンター担当者によるフットウェアの院内勉強会
- ※ 2011年9月~11月 透析室スタッフ全員がフットサポートセンターへ見学、フットウェア作製工程を体験
- ◇ 2011年12月 クリニック内でのフットウェア展示会と足の相談会開催
- ※ 2012年2月~3月 クリニック内でのフットウェア外来開設(隔週5回)



ジ フットウエア作製工程(約1.5ヶ月)

足部疾患の 医師の診断

2週間 2週間 2週間

役所・勤務先へ 必要書類の提出 代金の還付申請

1回目:義肢装具士による 足底圧測定•採型

2回目:フットウエアのフィッティング・調整

お渡し、代金支払い

医師による装着確認 意見書・装着証明書にサイン

> 3回目:フットウエアのチェック 必要書類受け取り





4回目:フットウエアのチェック

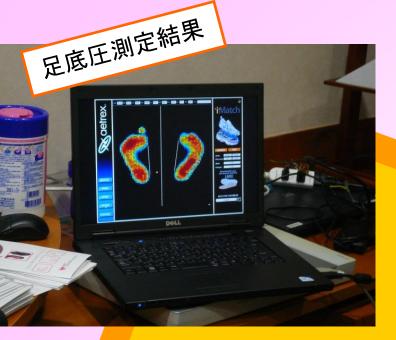
*フットウエア価格:7~9万円(フルオーダーメイド足底装具+医療用既製靴)

結果:1 展示会

- 歩当クリニック維持透析患者120名(糖尿病罹患者54名 下肢喪失者4名)全員へスタッフからフットウェアの説明をしながらリーフレット配布、クリニック内フットウェア展示会開催をアナウンス。
- 3日間の開催で23名(糖尿病外来患者6名 含む)の患者が参加。透析治療前後の時間 を利用して参加された。

結果: 2 フットウェア外来

- ※ 2012年2月1日~3月28日 隔週水曜日に計5回外来開設
- * 外来受診者:16名(透析患者8名 糖尿病 外来患者2名 外来スタッフ3名)
- * フットウエア作製者:12名(透析患者6名 糖尿病外来患者2名 外来スタッフ3名)
 - *フットサポートセンターで作製した者: 4名(透析患者1名 透析スタッフ3名)



採型

フットウェア外来の様子













フットウェア(フルオーダーメイド足底装具)



Bさん



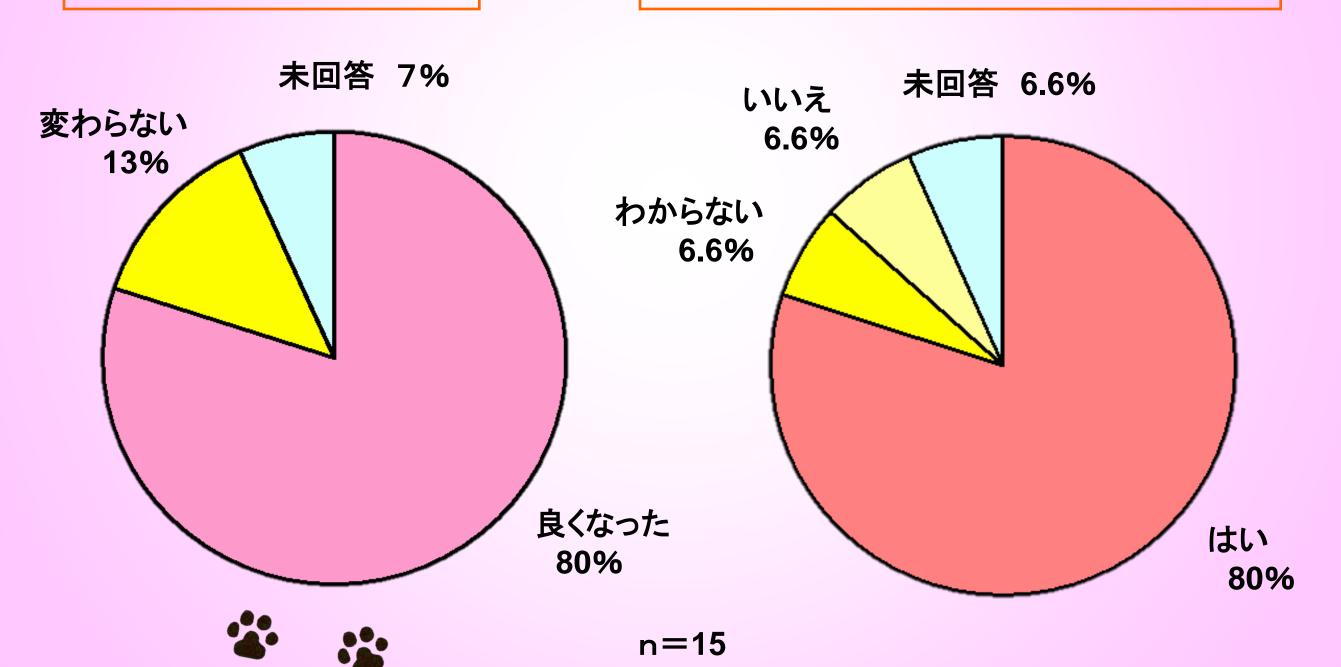




結果: 3フットウェア着用後アンケート

悩みに変化があったか

フットウエアを今後も履き続けたいか



まとめ一今後の展望

- ▶ PAD・足病変に対して透析患者はハイリスクである。
- 今回の取り組みはスタッフを始めとして、 患者さんへ足保護の上でのフットウェア の重要性・必要性を理解頂く良い機会と なった。
- 冷後もフットケア、フットウェア作製を継続し患者さんの足保護へ繋げて行きたい。

日本透析医学会 COI開示

筆頭発表者名:城和 美穂子

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

フットケアからフットウェアへ

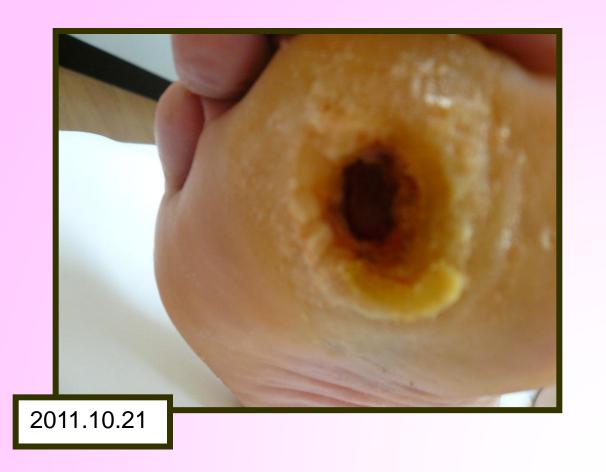


傷が潰瘍に・・・ (*x*) ユーパスタ処置開始









第一、二趾間に水泡!?水泡部にはゲンタシン軟膏塗布



肉芽組織の形成のため中心部に フィブラストスプレー噴霧

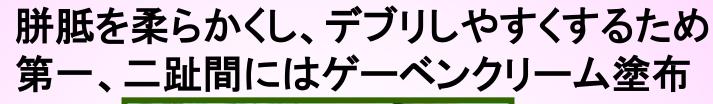


2011.11.7

潰瘍下部にも水泡・・(T_T)



胼胝からの潰瘍を治すためにはまず除圧!!ということで、胼胝の皮膚をデブリ(∋⊥∈)!







2011.12.2

ユーパスタから サリチル酸ワセリン塗布へ変更

少しづつ・・・デブリしながら(6⊆6)



2012.3.16



2012.2.8





2012.4.20

フットウエア作製開始!

完成までは仮のインソールを使用して除圧★ 潰瘍がこんなにも・・・(☆o☆)!!



2012.5.25



フットウエア完成!!









除圧の為に両足底の胼胝部位の インソールは違う素材になっています☆

実は上側にもクッションが!

